学校番号	323

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史（山川出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年次の学習を活かし、中世から現代までの歴史の流れの大きな概観をつかむ。
・世界の諸地域の歴史を、相互に関連づけながら理解する。
・世界史の学習を通して、現代世界が抱える課題や、あるべき姿を考えて、自分の言葉で表現する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の大きな枠組みと展開などに関わる諸事象を、地理的条件や日本の歴史を関連づけながら、理解した上で知識として定着するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
世界史の多様な資料を精読することにより、歴史的な思考力を培う。現代の出来事を歴史の事象と結び付け、歴史的視点から比較・考察・表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史を学習することにより、それぞれの国・地域が有する独自の文化や伝統を背景に、グローバル化する社会で活躍する自分の姿を、世界史の学びの中で得た価値観に基づいて構築する。また、現代を生きる人間として歴史から学ぶ姿勢を大切にする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	中世から近代までの世界の諸地域の歴史についての基本的な知識を身につけている。	世界の諸地域それぞれの歴史的発展の様式、また地域間の交流・衝突の要因を、各々の国・地域の民族・宗教、時代背景といった多角的な面から考察・理解している。	中世から近代までの世界の歴史に関する関心を高め、現在の世界が抱える諸問題に対する世界の諸地域の歴史・文化的影響を意欲的・能動的に探究する態度を培い、それを通して国際社会に貢献する自身の姿を考えることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第9章大交易・大交流の時代	1　西ヨーロッパの封建社会とその展開 2　東ヨーロッパ世界の展開 3　西ヨーロッパ世界の変容 4　西ヨーロッパの中世文化	a:封建制と荘園制に関する基本的な知識をもとに、この２つが崩壊・変容することになった要因を理解する。 b:封建社会変容の要因をヨーロッパ各国・各地域の歴史事象と結びつける。 c:ヨーロッパ各国・各地域の歴史的発展と、地域間相互の影響を考察し、次に訪れる歴史的変化を考察する。	定期考査 小テスト	定期考査 課題の提出	課題の提出 授業への参加状況・態度
	第10章アジアの諸帝国の繁栄	1　オスマン帝国とサファヴィー朝 2　ムガル帝国の興隆 清代の中国と隣接諸地域	a：アジアの諸帝国に関する基本的な知識を理解する。 b：アジアの諸帝国と周辺諸地域、特にヨーロッパとの関係について考察・理解する。 c：この時代の、ヨーロッパ地域に対するアジア諸地域の優勢の要因を理解し、この後のヨーロッパの発展を考察する。	定期考査 小テスト	定期考査 課題の提出	課題の提出 授業への参加状況・態度
	第11章近世ヨーロッパ世界の動	1　ルネサンス 2　宗教改革 3　主権国家体制の成立 4　オランダ・イギリス・フランスの台頭 5　北欧・東欧の動向 6　科学革命と啓蒙思想	a:「ルネサンス」「宗教改革」などに関する基本的な知識を理解し、キリスト教がヨーロッパ社会に及ぼしていた影響を考察する。 b:個人・国家に対するキリスト教の影響低下がヨーロッパ社会に与えた影響について考察する。 c:近世を迎えたヨーロッパ各国・各地域の発展を考察・理解した上で、近世以降のヨーロッパがアジア・アフリカ地域に与える影響について見通しをた	定期考査 小テスト	定期考査 課題の提出	課題の提出 授業への参加状況・態度

	向		てる。			
	第12章産業革命と環大西洋革命	1　産業革命 2　アメリカ合衆国の独立と発展 3　フランス革命とナポレオンの支配 4　中南米諸国の独立	a:「産業革命」「世界三大市民革命」などに関する基本的な知識を理解する。 b:産業革命による工業発展と労働者の社会的地位の向上が市民革命に与えた影響について考察・理解する。 c:各国の市民革命の特徴と、それまでの歴史経緯を総合し、アジア諸国の政治体制と比較・検討し、その相違点を考察することができる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題の提出	課題の提出 授業への参加状況・態度
2学期	第13章イギリスの優位と欧米国民国家の形成	1　ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2　列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3　アメリカ合衆国の発展 4　１９世紀欧米文化の発展と市民文化の繁栄	a:ウィーン体制をもとに、ヨーロッパ列強に関する基本的な知識を理解する。 b：産業革命の進行にともなうアジアとヨーロッパの力関係の変化と、それにともなうヨーロッパ列強内での対立・競合の経緯を考察・理解する。 C：アメリカ合衆国の発展が国際社会に与える影響を考察し、これから始まる帝国主義時代の見通しをたてる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題の提出	課題の提出 授業への参加状況・態度
	第14章アジア諸地域	1　西アジア地域の変容 2　西アジア・東南アジアの植民地化 3　東アジアの激動	a:帝国主義時代の西アジア・東南アジア・東アジアの王朝の興亡について理解する。 b:欧米列強の植民地争奪戦と、そこからアジア各地がどのように分割されていったかを考察・理解する。 c:列強の進出に対し、アジア各地域はどのように対処しよう	定期考査 小テスト	定期考査 課題の提出	課題の提出 授業への参加状況・態度

	の動揺		としたのか、また、その多くが失敗した要因は何かを考察する。			
	第15章帝国主義とアジアの民族運動	1　第２次産業革命と帝国主義 2　列強の世界分割と列強体制の二分化 3　アジア諸国の変革と民族運動	a:「第２次産業革命」に関する基本的な知識を理解する。 b:「第２次産業革命」に関する基本的な知識をもとに、第１次産業革命との相違点と労働者の地位の変化・帝国主義時代への移行要因を理解する。 c:「列強体制の二分化」の要因を、政治的要因に加えて、民族・宗教的要因からも考察・理解する。	定期考査 小テスト	定期考査 課題の提出	課題の提出 授業への参加状況・態度
	第16章第一次世界大戦と世界の変容	1　第一次世界大戦とロシア革命 2　ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3　アジア・アフリカ地域の民族運動	a:第一次世界大戦前後の世界各国に関する基本的な知識を理解する。 b:ヴェルサイユ条約・ヴェルサイユ体制の狙い・構造を考察・理解する。 c:戦争を防止するためのヴェルサイユ体制が次の大戦につながった要因を探究する。	定期考査 小テスト	定期考査 課題の提出	課題の提出 授業への参加状況・態度
3学期	第17章第二次世界大	1　世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2　第二次世界大戦 3　新しい国際秩序の形成	a:「世界恐慌」「戦間期の各国の状況」に関する基本的な知識を理解する。 b:「世界恐慌」「戦間期の各国の状況」に関する基本的な知識もとに、ヴェルサイユ体制が崩壊した過程・要因と、そこから第二次世界大戦にいたった経緯を理解する。 c:第二次世界大戦の対立構造を	小テスト	課題の提出	課題の提出 授業への参加状況・態度

	戦と新しい国際秩序の形成		理解し、戦後の国際秩序の形成に関する考察を深める。			
	第18章冷戦と第三世界の台頭	1　冷戦の展開 2　第三世界の台頭とキューバ危機 3　冷戦体制の動揺	a:米ソを主軸とした「冷戦の対立構造」に関する基本的な知識を理解する。 b:冷戦期における世界諸地域の動きを考察・理解する。またキューバ危機がその後の国際社会に与えた影響について探究する。 c:冷戦初期には圧倒的強国の地位にあった米ソが、1960 年代までにその地位を大きく下げた要因を考察する。	小テスト	課題の提出	課題の提出 授業への参加状況・態度
	第19章冷戦の終結と今日の世界	1　産業構造の変容 2　冷戦の終結 3　今日の世界 4　現代文明の諸相	a:「冷戦終結までの過程」「冷戦後の国際社会」に関する基本的な知識を理解する。 b:「冷戦終結までの過程」「冷戦後の国際社会」に関する基本的な知識をもとに、「今日の世界」における各国・各地域の結びつきに関する考察を深める。 c:進歩する科学技術・2つの世界大戦後もなくならない戦争・紛争などに関する理解を深め、これからの世界の課題を考察する。	小テスト	課題の提出	課題の提出 授業への参加状況・態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度